

# 『台湾有事と日本の危機』峯村 健司 著



ISBN: 978-4-569-85653-7  
PHP新書 1,188円(10%税込)  
発売元: 株式会社PHP研究所

はじめに——台湾総統選挙と「トランプ2.0」

序章 台湾有事はもう始まっている  
——最重要ターゲットは日本

第1章 「台湾統一」は習近平の「宿命」  
——衝撃の有事シナリオ

第2章 中国はどのように台湾併合を目論んでいるのか  
——習近平の“戦略ブレイン”が考える  
「新型統一戦争」をシミュレーション

第3章 先鋭化する米中対立  
——東アジアの“火薬庫”はいつ爆発しても  
おかしくない

第4章 台湾有事で巻き込まれる日本  
——次々と浮かび上がる日本の課題

第5章 習近平の「情報戦」に立ち向かえ  
——周回遅れの日本

## 習近平の 台湾併合極秘 シナリオとは？

有事の想定・訓練をしない政府と  
自治体の武力侵攻事態への無策、  
中国国家動員の恐怖が明らかに！

### ■「台湾併合」最後のピースは米国大統領選！

台湾総統選挙で与党・民進党は過半数を獲得できず、中国は軍事、外交圧力を強めている。著者は「これで台湾併合に向けた条件がそろった」と衝撃の予測を展開。さらに11月の米国大統領選の結果次第で台湾をめぐる「現状」は崩れ、日本は厳しい状況に追い込まれる、という。徹底した「中国の目線」による有事のシナリオが明らかに！

著者はさらに、中国の武力行使を想定しない「日本政府・自治体のリスク、日本企業と邦人が有事に巻き込まれる悲惨な実態をシミュレーション」。「政治家による迅速・果斷な事態認定を」「『国民保護』を防衛省・自衛隊任せにしない」「自衛隊員の処遇改善」など防衛対策の見直しを促す。

※取材のお取次ぎ、書評用の献本も下記で承っております。お申し付けください。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社PHP研究所 広報担当 野畑、高橋  
TEL 03-3520-9638 prinfo@php.co.jp